【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【公表番号】特表2010-508174(P2010-508174A)
【公表日】平成22年3月18日(2010.3.18)
【年通号数】公開・登録公報2010-011
【出願番号】特願2009-534715(P2009-534715)
【国際特許分類】
Ｂ２８Ｂ　1/30　(2006.01)
Ｃ０４Ｂ　16/06　(2006.01)
Ｃ０４Ｂ　28/02　(2006.01)
Ｃ０４Ｂ　14/38　(2006.01)
Ｂ２８Ｂ　1/52　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２８Ｂ　1/30
Ｃ０４Ｂ　16/06　Ｚ
Ｃ０４Ｂ　28/02
Ｃ０４Ｂ　14/38　Ｚ
Ｂ２８Ｂ　1/52

【誤訳訂正書】
【提出日】平成25年9月17日(2013.9.17)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１層の繊維強化セメント系スラリーから形成された構造用セメント系パネルを生産する方法であって、前記方法は、
（ａ）移動ウェブを設けるステップと、
（ｂ）切断されて絡まることなく分散された繊維からなる第１繊維層を前記ウェブ上に堆積させるステップと、
（ｃ）凝結型スラリーからなるスラリー層を前記第１繊維層上に堆積させるステップと、
（ｄ）切断されて絡まることなく分散された繊維からなる第２繊維層を前記凝結型スラリーからなるスラリー層上に堆積させるステップと、
（ｅ）前記第１及び第２繊維層を前記凝結型スラリーからなるスラリー層の中に各繊維強化セメント系スラリー層の両面から積極的に埋め込んで前記切断されて絡まることなく分散された繊維をスラリー全体に均一に分散させるステップと、
を備え、
各繊維強化セメント系スラリー層において、前記（ｂ）乃至（ｅ）のステップによって埋め込まれた各繊維層のそれぞれの比率が、投影繊維表面積分率で０．６５未満で示されるように、前記第１繊維層側から振動を与える、
ことを特徴とする方法。
【請求項２】
前記（ｂ）乃至（ｅ）のステップからなる処理を繰り返し、前回の処理で堆積された繊維強化セメント系スラリー層上に、凝結型スラリーからなる別のスラリー層を堆積するス

テップをさらに含み、前記凝結型スラリーからなる別のスラリー層を堆積する次回の処理でのステップ（ｂ）では、前記第１繊維層を、前回の処理で堆積された繊維強化セメント系スラリー層上に堆積させる、請求項１に記載の方法。

【請求項３】

前記処理を繰り返すことで得られる構造用セメント系パネルが、前記切断されて絡まることなく分散された繊維を含む複数の分離独立した繊維強化セメント系スラリー層を備えるように、前回の前記（ｂ）乃至（ｅ）のステップにより得られた繊維強化セメント系スラリー層上に、前記凝結型スラリーからなる別のスラリー層を堆積する、請求項２に記載の方法。

【請求項４】

前記ステップ（ｅ）の前記積極的な埋込みに関連して前記スラリーと前記繊維を振動させるステップをさらに含む、請求項１～３のいずれか１項に記載の方法。

【請求項５】

前記スラリーにおいて混練作用を生じさせることによって前記積極的に埋め込むステップを実施するステップをさらに含む、請求項１～４のいずれか１項に記載の方法。

【請求項６】

各々が指定された繊維体積分率を有する複数の繊維強化セメント系スラリー層を提供する、前記（ｂ）乃至（ｅ）のステップからなる処理を繰り返す、請求項１～５のいずれか１項に記載の方法。

【請求項７】

各々が指定された繊維体積分率を有する複数の繊維強化セメント系スラリー層を提供する、前記（ｂ）乃至（ｅ）のステップからなる処理を繰り返し、請求項１～５のいずれか１項に記載の方法によって、１対の外層と少なくとも１つの中間層とを有する繊維強化パネルを作成し、前記外層は前記少なくとも１つの中間層よりも高い繊維体積分率を有する、方法。

【請求項８】

前記ステップ（ｂ）乃至（ｅ）によって生成される各繊維強化セメント系スラリー層における各繊維層のそれぞれの割合は、０．６５未満である投影繊維表面積分率で表わされ、前記ステップ（ｂ）乃至（ｅ）によって生成される各繊維強化セメント系スラリー層の厚さは０．０５～０．３５インチの範囲にある、請求項１～７のいずれか１項に記載の方法。

【請求項９】

請求項１～８のいずれか１項に記載の方法に従って生産される構造用セメント系パネル。

【請求項１０】

前記凝結型スラリーからなるスラリー層に堆積される前記第１繊維層の投影繊維表面積分率を決定するために、第１の式

【数１３】

$$S_{f1,1}^{P} = \frac{4V_{f,1}t_1}{\pi(1+X_f)d_f}$$

を使用するステップと、

前記凝結型スラリーからなるスラリー層に堆積される前記第２繊維層の投影繊維表面積分率を決定するために、第２の式

【数１４】

$$S_{f2,l}^{P} = \frac{4X_f V_{f,l} t_l}{\pi(1+X_f)d_f}$$

を使用するステップと、
前記繊維強化スラリー層に繊維のパーセンテージの望まれるスラリー体積分率Ｖ$_{f}$を提供するステップと、
前記繊維の直径ｄ$_{f}$を調整するか、又は、前記繊維強化スラリー層の厚さｔ$_{l}$を０．０５～０．３５インチの範囲に調整することによって、各繊維層に対する前記繊維表面積分率Ｓ$^{P}_{f1、l}$と前記繊維表面積分率Ｓ$^{P}_{f2、l}$とが０．６５未満となるように繊維の前記体積分率Ｖ$_{f}$を繊維の前記供給比Ｘ$_{f}$にさらに割り当てて、前記第２繊維層の繊維を前記第１繊維層の繊維と比較するステップと、
個々の繊維ストランドの直径ｄ$_{f}$及び個々の繊維ストランドの長さｌ$_{f}$で前記繊維表面積分率Ｓ$^{P}_{f1、l}$を除することによって、各繊維層に添加する、切断されて絡まることなく分散された繊維の数を決定するステップと、
移動ウェブを設けるステップと、
前記決定された、各凝結型スラリーからなるスラリー層に堆積される繊維の投影繊維表面積分率に基づいて、前記第１繊維層を前記ウェブに堆積させるステップと、
凝結型スラリーからなるスラリー層を、前記第１繊維層に堆積させるステップと、
前記決定された、各凝結型スラリーからなるスラリー層に堆積される繊維の投影繊維表面積分率に基づいて、前記第２繊維層を前記凝結型スラリーからなるスラリー層に堆積させるステップと、
前記第１及び第２繊維層からなる多層の繊維が前記パネルにおける各凝結型スラリーからなるスラリー層全体に分散されるように、前記切断されて絡まることなく分散された繊維を前記凝結型スラリーからなるスラリー層に埋め込むステップと、
をさらに含む、請求項１～９のいずれか１項に記載の方法。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００６７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００６７】
基本的な繊維－スラリー層の総繊維体積は、総繊維体積分率によって次式のように表わされる。
$v_{f,l} = v_{上} * V_{f,l}$　　（５）
したがって、層１における繊維の体積は、次式のように表わされる。